

松山市立幼稚園では、平成23年度から園庭の芝生化を順次行い、現在では全園に芝生の緑のじゅうたんが広がっています。その芝生で遊ぶ幼児の姿、未就園児親子や芝刈りに協力して下さる保護者の方々など、芝生に集う人々の姿を通じて、芝生の教育的効果を整理しました。別添の活用事例集（月別）と合わせて、ご覧ください。

芝生で遊ぶ中で育まれること

ものごとに主体的に関わる力(学びの構え・土台づくり)

○五感を通して関わる力

(感じ、試し、動くこと【主体的・対話的で深い学びの実現】)

自然物・自然事象への関心

○直接体験の広がりや深まり

(土と違う芝生の程よい感触、ワクワクする気持ちが生まれる虫の訪れ、草の香り など)

(自然に関わる心地良さや喜び、感動、思いの言語化、人との共感、記憶に残る体験)

基本的な運動習慣の構築

○思わず駆け出したくなる気持ちの喚起

(広い空間で清々しい緑、心も体ものびのび、転んでも裸足でも痛くない)

○多様な動きを経験

(柔らかさ、いろいろな体の動きを受け止める芝生、広々とした開放感、安全なスペース)

○動く楽しさを実感

(心揺さぶられる体験や思いの表現、思い切り動いたあとの爽快感)

コミュニケーション能力の向上

○集う楽しさの広がり

(一目で分かる魅力あるエリア、心地良さにひかれ集う人々、新たな出会いやつながり、伝えたい気持ちの高まり)

○温かな関係づくり

(幼児・教師・保護者・地域の人が芝生を核にして集うことで、親しみが増す)



ものごとに主体的に関わる力
(学びの構え・土台づくり)

- ☆友達に
- ☆芝生に集まるいろいろな人に
- ☆自然物に ☆遊びに
- ☆自分に (向き合う・振り返る)

先生、このバケツにいっぱい草、もう4回ひっくり返したよ。



先生、芝生の上にプール出しとったやろ、小さい組のとき。また、出してや。



〇〇ちゃん、18回跳べたんよ。



〇〇ちゃん、18回跳べたんよね。△△は16回。今度二人で跳んでみん？

マーカーコーン爆弾を避けてぎざぎざに走れるかな？昨日は踏んで爆発したんよね。



お父さん、今日は頑張って早くお仕事終わらせてきたんよ。



鈴に当たるように玉を投げられるかな？



芝刈り、ぼくたちにもやらせて。

援助のポイント

幼児が「何だろう」「触ってみたい」「試してみたい」と思えるよう教材や道具を効果的に配置したり、広々としたスペースを活用して、友達や遊びに自ら動いたり働きかけたりしたくなる気持ちを喚起したりすることができるように仕向ける雰囲気づくりと見届けを行う。

芝生での活動を振り返る時間を確保し、自ら選んだ活動をやり遂げられたことを共に喜んだり目的を再設定したりしながら、より充実した遊びになるよう助力していく。

お母さん、芝生の根っこって強いね。こんな硬いところに生えとるんやね。ゴリゴリ掘っても穴が開かんよ。



次は何鬼ごっこにする？〇〇ちゃんがしたいやつもやってほしいな。



PLAYING on the Lawn open area for CHILDREN

自然物・自然事象に関わる力

- ☆芝生に集まる虫に
- ☆芝生や身の周りの植物に
- ☆四季のうつろいに
- ☆気候の変化に



タケノコのお洋服、何枚も重なってるね。



芝生のお布団みたいにいっぱい葉っぱが落ちてきたよ。この袋いっぱいになるかな。



夏になったらここに植えた芝生も元気に大きくなるかな。みどりのじゅうたんになる日が楽しみ。



凍ってる！雪も積もってる！ツルツル滑るよ。虫がおらんね。土掘ったら冬眠中の虫が出てくるって、書いてあったよ。

芝生とよく似た草の根っこ、ながーいね。



みんなで作った巨大ムカデ怪獣、なんか背が伸びたみたい。

援助のポイント

時期、季節に応じて芝生園庭やその周りで出現が予想される事象や動植物に出合えるように仕掛けたり、幼児と共に発見を喜んだりしながら、感動経験を共有して記憶にとどめやすくなるように努める。

芝生の生長や芽吹き、枯れていくさまなどを継続して観察したり、四季折々の現象を捉えながら、事象の変化を共に感じ、遊びに取り入れようとする気持ちを受け止めたり、幼児の気づきを言葉にして返したりしていく。



カエルさんの声がするから、見付けに行こう。芝生はプシュプシュ柔らかいね。



虫さんが遊びに来たよ。前に見た時より大きくなったね。

基本的な運動習慣の構築

- ☆転がる ☆踏ん張る ☆跳ぶ ☆蹴る
- ☆はう ☆捕まえる ☆揺れる
- ☆投げる ☆バランスをとる
- ☆思い切り走る
- ☆繰り返し挑戦する
- ☆達成感や爽快感を味わう など



踏ん張って、よく見て、構えて、えい!

いっぱい芝生で遊んだ後は、お弁当も芝生で食べようや、先生。おなかぺっこぺこよ。

援助のポイント

教師も一緒に動いたり、場を捉えて身のこなし方を獲得している場面を認めたりしながら、「いっぱい芝生で遊んだら、ご飯が美味しいね」「こんなこともできるようになったよ」などの言葉に共感していく。のびのびと体を動かすことのできる場であることを感じる。

自分なりにしてみようと思える気持ちを受け止め、見守る中で、充実感や達成感を味わえるような工夫をする。



ごろんごろん、きゃあ、目が回ったよ。



そうそう、踏ん張って引っ張ったら、うんとパワーが出るね!



けんけんば、両方の足をそろえてピョンピョン跳べるかな。



足の裏にボール、ぐらぐら。でもまっすぐ立てるよ。



見て、上手にぼよんぼよんできるようになったんよ。



かけっこ 大好き!



ゆ〜らゆ〜ら、気持ちいいよ。

コミュニケーション
能力の向上

- ☆心地良い柔らかさを求めて
- ☆気持ちの和む場を求めて
- ☆いろいろな人がいる場を求めて
- ☆夢中になれる遊びを求めて



小学生も高齢者の方も、芝生の上で一緒にそうめん流ししよう！



お誕生日おめでとう！！芝生の上で
ハッピーバースデー♪



しっぽ取り鬼ごっこ、楽しそうじゃね。
園長先生も寄せて。

援助のポイント

地域の人や保護者などが幼児や教師とつながるきっかけとなって、共に活動できるように、芝生のメンテナンスや行事などに誘い掛け、一緒に活動する楽しさが味わえるような環境作りの工夫をする。

教師は幼児一人一人が感じていることを言葉にして返したり、友達の気持ちとすり合わせたりすることができるような橋渡し役になるよう努める。また、人との関わりがあることで、活動がより楽しくなることを自覚化できるように仕向けたり、自分自身を振り返る場となるように語り掛けたりしていく。

〇〇ちゃんも乗って！お山の中行く、汽車ポッポ～♪



芝生の上は涼しいね～。
お父さんも、こっちきてお座り～。



小さなお友達、一人で座っていても
安心だね。

豆まきしたらハトさんがいっ
ぱいきてウンチするから、お掃
除しよう。



子どもたちや先生が頑張ってる。
私も手伝います。（お母さん）

皆で食べたらもっと美味しいね！



小学生のお姉さん、これどうやって遊ぶん？